



## SNS・ネット利用についてのアンケート調査結果から

6月初めに、本校の全校生を対象に「SNS・ネット利用に関するアンケート調査」を実施いたしました。1, 2年生については、保護者の方にご記入いただきました。ご協力ありがとうございました。

そこで、アンケート調査の結果について、概要をお知らせいたします。

### ○ SNSやネットを利用しているかについて

- ・ 全体の約70%の児童が利用している。(4年生以上では、約90%近くが利用している。)

### ○ どんなことに利用しているかについて(複数回答で多かったもの)

- ・ 動画サイト(全体の半数)、「ライン」やメール、通信ゲーム、分からないことを調べる・・・

### ○ 利用時間について(平日)

- ・ 1時間未満・・・全体の約30%      1時間以上・・・全体の約35%
- ・ 5時間以上利用している児童も数名いる。

### ○ 利用時間について(土・日・祝日)

- ・ 1時間未満・・・全体の約25%      1時間以上・・・全体の約40%
- ・ 5時間以上利用している児童も数名いる。

### ○ ネット利用について家庭でルールを決めているかについて

- ・ 決めている・・・全体の約70%      決めていない・・・全体の約24%

### ○ ゲーム機やスマホにフィルタリングを付けているかについて

- ・ 付けている・・・全体の約46%      付けていない・・・全体の約33%

### ○ SNSやネット利用でトラブルがあったかについて

- ・ 数名の児童は、トラブルがあったと回答している。「悪口を書かれた」「親とトラブルになった」「個人情報やネットにあげトラブルになった」など

ある程度予想はしていましたが、本校児童の多くがSNSやネットの利用をしていることが、改めてわかりました。そして、いくつかの問題も見えてきています。

- ① 利用している児童の半数は、1日1時間以内で終了しているのですが、30~40%の児童は、1時間以上利用しているようです。またわずかですが、5時間以上利用している児童もいます。ネット依存・ゲーム障がいといったことが懸念されます。
- ② ゲーム機やスマホにフィルタリングを付けていないと回答した児童も意外と多いようです。確実にフィルタリングをつけることが大切だと思います。
- ③ ネット利用によるトラブルも数件発生しており、大きな問題にならないか心配される場所です。

学校では、情報モラル教育など各学年にあわせて指導をしているところです。今後も機会あるごとに指導をしていきますが、まずは各家庭において、ネット利用の危険性などを教え、ルールを決めて利用させるよう、ご指導をお願いします。

# スマホ利用 親子で約束

## スマホのルール例

あらかじめ親子で相談。違反した場合にどうするか決めておく

- 時間**
  - 午後何時まで
  - 1日何時間以内
- 場所**
  - 居間だけで使う
  - トイレや自室に持ち込まない
- マナー**
  - 相手の気持ちを考えた言葉遣い
  - 個人情報の扱いは慎重に
  - 知らない人とやりとりしない
- お金**
  - 有料のゲームやアプリは親に了解を得ずにしない
  - お小遣いの範囲内で使う



## 話し合い、制限設定を

春は進学や入学に合わせて、子どもにスマートフォンを持たせる家庭が増える時期。だが、いじめや犯罪に巻き込まれるリスクなど、心配事

春は進学や入学に合わせて、子どもにスマートフォンを持たせる家庭が増える時期。だが、いじめや犯罪に巻き込まれるリスクなど、心配事

小学六年生で22%、中学一年生で65%。関東地方の小中学生の子と親五百組に、子どものスマホ所持を尋ねた昨年の調査結果だ。実施した「NTTドコモ モバイル社会研究所」によると、スマホを利用している家庭の八割以上で何らかのルールを決めている。決めておくべきです」と説

公立中学校の元教諭で、子どもとスマホの関係に詳しい兵庫県立大准教授の竹内和雄さんは「何時まで」「一日何時間」といった利用時間や、「居間に限る」

LINE(ライン)やツイッターなどの会員制交流サイト(SNS)を使うならば「知らない人とやりとりをしない」「言葉遣いに気を付ける」といったマナー



勉強の合間にスマホを見る中学生。充電もリビングなど家族が長く過ごす部屋でさせるのがいいという

を教える。オンラインゲームを認めるなら利用料の制限などを決める。親子で話し合い、納得の上で具体的に約束するのが大切だ。有書な情報にアクセスしないよう、年齢に応じたフィルタリングは必ず設定を。スマホの基本ソフト(OS)やアプリで制限をかける。動画投稿サイト「ユーチューブ」のように子どもに人気のアプリでも、制限を設定できるものがある。

使わせるのではなく、リビングなど親の目が届く場所で、平日は1時間、休日は二時間以内というように限定しましょう」と話す。

「ユーチューブ」など次々と関連動画が再生できる仕組みは、依存状態を招くリスクが高い。また、発達障害の傾向がある子どもの中には、スマホにのめり込んでしまう子もいるといい、「利用し始めるのを可能な限り遅らせた方がいい」と注意を促す。

竹内さんは「子どもが好むアプリを親が理解していないと、問題が起きたときに対処できない。深みにはまる前に、相談しやすい関係、環境を整えてほしい」と訴える。

ネット依存専門外来がある国立病院機構久里浜医療センター(神奈川県横須賀市)は、パソコンやスマホの使用ルールの要点をホームページに掲載。医師の中山秀紀さんは「自由に

ルールを破った場合でも、ただ取り上げては子どもは反発し、逆効果になりかねない。今後はどうかを親子で話し、双方が納得できる打開策を決めるのが重要という。